



# がんば

島原市立第三小学校  
育友会報  
発行  
広報部

【第98号】

## 「のこった、のこった！」



「雨にも負けず……。」



体育部長  
友永峰昭

九月十一日、雨雲も何のその、三小の土俵の周囲は豆力士の熱気がむんぐんで、好取組の連続です。

町内では、「おとなしい子」評のA君も土俵に上がれば歯を食いしばって一生懸命。日頃見せない形相は、周りの大人に一種の戦慄と感動を与えてくれます。

一方、雨で緩んだ運動場では、必死でボールを追う子あり、塁間を駆け抜けるすさまじい母の姿あり、白熱したプレーが夕暮れ時まで続きます。

今年から、「男と同じ様に女にも賞を……。」と言う女の子の意見を尊重して、関係各位から準備されたカップを傍らに、一つひとつのプレーに熱がこもります。

午後六時半、大歓声の中、薄暗くなったグラウンドでやっと最後の試合が終了しました。心配された天候でしたが、親と子、更に裏方で尽力された多くの先生方の一致協力で三小相撲大会、親子フットベースボール大会を終了できました。本当にご苦勞様でした。

## 町内訪問

さる7月26日から8月5日

まで、生活部主管による町内訪問が行われました。各町内から御意見・要望が出され、それに対し、校長先生の応答がありました。以下はその一問一答です。

× × ×  
**●下駄箱に長靴が入れられるようにして欲しい。**

新校舎の下駄箱は問題はありませんが、本館の古い下駄箱に長靴が入らなくて困っています。しかし、一度に作りかえるわけにもいかないで、子供達が困らないように置く場所や置き方等、学年で対策を考えてもらっています。  
**●担任の持ち上がりについて。**

三小では、一年、三年、五年で組分けをし、二年間子供達は同じ組で友達となり心を通わせています。毎年教職員の定期異動があり、全員持ち上がりというわけにはいかないので、先生の希望や学校経営を考えて、学校長が決定しております。

**●通知表の成績に対する評価**

について。

現在、三小では相対評価という評価法で評定を行い、通知表をつけています。相対評価というのは、子供が所属している学級集団の成績を基準とし、子供の成績の相対的地位を判定する方法です。つまり、子供が学級全体の中でどの位置にいるかという評定のしかたです。大事なことは、テストの成績が30点だったとか70点だったということより、学習内容を如何に理解し目標を達成したかにあるのではないかと思います。今後の学級部会等で担任に説明させますので、多数のご出席をお願いします。

**●いじめの問題** 六年生が下級生をいじめる。いじめる側で子供に注意しているが、家族に対する陰口のためいやな思いをしている。

いじめをなくすことは、学校でも指導の重点として日常の指導に当たっています。学級担任は、自分のクラスにいじめは無いという考えではなく、

いじめの育つ土壌はあるという考えで、日常の学級経営に当たり、いじめの芽が育たないように、小さいうちに摘みとることができるよう、学校の



きるような教育に心がけています。いじめは、子供の人権にかかわる大事な問題です。ご家族や町内でもよろしくご協力いただこうお願いいたします。

**●プール監視員の仕事の役割** について。10分位遅刻したら監視員に叱られた。

プール監視員は、市教育委員会の体育課で募集し、各校のプールの監視に割り当てられています。本校の監視員は、説明会に欠席していて、業務内容を十分理解していません。皆様にご迷惑をおかけした次第です。その後、よく説明して理解させ、勤務してもらった。

**●柴町古城の駐車場より飛び出しがある。よく指導して欲しい。**

旧避病院下の信号機の交差点で、子供達は古城さんの駐車場に渡り、ここから道路に出ることが多いようです。道路も狭く見通しも悪く、信号待ちの車も多く危険です。一学期にも三年生の児童が、古城さんの駐車場から飛び出し、軽トラックと接触して転倒して骨折するという事故がありましたので、学校でもくりに指導しています。な

お、白山地区の「市長を囲む懇談会」でも、育友会の要望事項として出してもらおうことにしています。

**●犬を放す家がある。危ないのでやめて欲しい。**

学校にもよく野犬がきて、体育の授業をじやましたり、子供の靴をくわえて行ったりして困っています。登校する子供についてくる犬もあります。中には、首輪をつけた飼い犬もいます。四六時中飼い主は犬を放してはいけない事になっているそうですから、よろしく願います。

**●自転車に乗る時、ヘルメット着用について今後検討してもらいたい。**

現在、三小と五小で、自転車に乗る時にヘルメットを着用させています。本校でも、育友会の交通部の皆さんとよく相談して検討してみたいと思います。

**●通学路のことで登校路と下校路を別にしてもいいか?**

南下川尻町から通学路に、変質者が現れて危険であるので、通学路を変えてもいいかという要望が出されました。危険な道路を通学させるわけにはいきませんので、町内の皆さんの意見を聞き、遠道で

も安全な道を通学路にしたい  
と思います。

川口部長の話 もう少し父  
親の参加があれば、もっと積  
極性のある話し合いがなされ  
たのではないかと思います。校長先  
生、教頭先生、会長、副会長  
におかれましては、数多くの  
町内を訪問して頂き、又、補  
則、アドバイス等大変有りがと  
うございました。生活部一同  
大変感謝しております。

校長先生の話 町内を訪問  
させていただき、皆様の熱心  
で建設的な意見交換に感動し、  
教えられること大なるものが  
ありました。来年度は、さら  
に充実した訪問になるよう次  
の点を要望します。

○町内によっては、10名程度  
で開会も遅れる等、さびしい  
思いをしました。隣接の町内  
と合同で開くなど工夫され、  
盛り上げる会にできないでし  
ようか。

○何か一つ全町内共通のテー  
マを設けて如何でしょうか。  
○お父さん方に、もう少し出  
席して欲しい(みなと町内は  
男性の出席が多かったそうで  
す)。

※紙面の都合で割愛させて頂  
いた部分もありますので御  
了承下さい。(広報部)

### 相撲大会成績

#### 【団体戦の部】

- 一位 南下川尻A
- 二位 新山西A
- 三位 新山西B

#### 【個人戦の部】

##### 【三年生】

- 一位 吉井 洋貴
- 二位 下田 利幸
- 三位 中野 浩司

##### 【四年生】

- 一位 福島 竜児
- 二位 松本 雅矢
- 三位 荒木 祥介

##### 【五年生】

- 一位 平湯 昭範
- 二位 村上 陽介
- 三位 宮村 将吾

##### 【六年生】

- 一位 是枝 伸一
- 二位 酒井 一圭
- 三位 荒木 元聡



### 午前と午後の二回 運動場の雑巾がけ

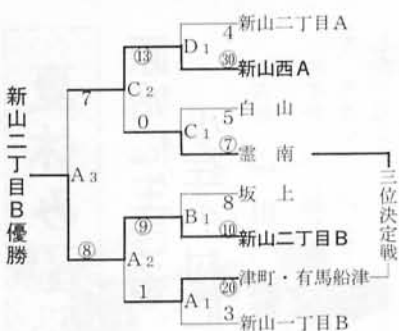
「ろうかの雑巾がけはする  
ばってん、運動場の雑巾がけ  
は初めてね。」と言いながら、  
午前と午後の二回、運動場の  
整備をしました。お父さん、  
お母さん、子どももみんな、  
ずぶぬれ、泥んこになって頑  
張りました。  
でも、楽しい一日でした。



(気持ちよまるで高校球児!!)



### 親子フット ベースボール結果 【決勝トーナメント】



## “今年の日曜日に”

11月27日 父母参観日 (月曜日と振替)

午前 授業参観  
午後 ミニ運動会  
終了後

全会員・全職員による大懇親会(みんなで気楽に話し合いましょう)

# 夏休み作品展 に思う

本田 堯

今年の作品を見て、昨年より良くなっているなの印象を受けました。

抵抗のある素材に挑戦した子に、よく頑張ったねと声をかけると、きつかったの声と共に完成の喜びが顔面に

小刀は、工作の一番もとなる大事な道具の一つです。ものを作って遊ぶ、作り出すよろこびを、もつともつと味わってもらいたいことと、地域の素材を活用してもらいたいと思いました。



# 楽しかった プール納め会



# 来年は もっと上手に

三年 小島慶子

三年生として、プールで泳ぐのは、今日がさいごです。終わりの種目、学級たいこウリレーになり、一番二番がとびこみ、さあ次は私の番です。

す。とびこみ台に上ると、むねがドキドキして来ました。二番がかべにタッチしたので、む中でとびこむと、何が何だか分からなくなりました。かべにタッチしたとたんに息がハアハアしてくるしくなりました。

# 苦しくても 最後まで

三年 金色ひろあき

二十五メートルリレーで、ほくは、二回目の二番に泳ぎました。どきどきしました。だけど、いっしょうけんめい泳ぎました。苦しくても泳ぎたくなくてもがんばって泳ぎました。だから、とってもうれしかったです。

ほくのつぎのてつおみ君があと少しでぬかしそうでした。だけど、けっきょく負けました。びりじやなかったからよかったです。ほくも思いつきり泳いだからいいです。来年もがんばりたいです。

# 夏休み野外生活体験記

## 原始に生きる

### 少年の村に

六年 湯田 一世

昨年からの念願がやっと実現し、当選した時はとてもうれしかったです。

無人島での生活は、魚つり、イカダあそび、炊飯活動など楽しいことばかりでした。

一番心に残ったことは、夜間歩行です。夜七時から十二時までの五時間、十八キロメートルを歩いたことでした。

大自然の中で、友達にもめぐまれ、たくさん先生のリーダーの方に囲まれて、作る事きたえる事、たえる事を学びました。

これからも、何んにでも挑戦したいと思えます。

## 無人島キャンプ

六年 梅崎 寛智

ほくは、無人島でいろんな事を体験しました。その中でも、全々知らなかった人と生活した事、電気やテレビのな

いで過した事、夜間歩行で十八キロ歩いた事、火作りをしてなかなかつかなくて苦労した事、水が飲めなくてつらかった事などありました。でも、ほくににとっては、きちよな体験になって良かったなあと思いました。

これからも、この無人島の体験をもとに、がんばって行きたいと思いました。

## 少年の船に参加して

五島で二泊三日、地引網、海水浴、有川祭見学などを通して、集団生活の厳しさを体験しました。



左から 五年生の荒木聡美さん、松尾扶子さん



# 思い出いっぱい 修学旅行



## 楽しかった

### 修学旅行

六年 島田直子

私たちの乗った多比良港行きのフェリーが、長洲港からはなれ出しました。二日間の修学旅行を終えて、三小に向かっています。私は、友だちといっしょに甲板に出て、だんだん遠ざかっていく熊本を見ていました。

そうしていると、水辺動物園でいろんな動物に出会い、



友だちとたくさんさんの乗り物に乗ったこと、夜おそくまでみんなと話したこと、バスの中で歌を歌ったことなど、言い出したらきりがなくいろいろのさまざまな思い出がうかび上がってきます。



このたくさんさんの思い出もあれば、また、今のみんなともうこんなことはないんだろかなあというさんねんな気持ちもあります。

## 民家村にいった

六年 塩崎愛子

私は、この修学旅行を小学校生活の中の一つとしても楽しかった行事の一つとして、心の中に大切にしまっておきたいと思います。

民家村では、一学期にのらった縄文時代のころの家や古墳を見にいきました。

まず、江田船山や古墳を見ました。長さ六十一m、はば四十一mで、五世紀後半につくられたもので、発見されたのは、明治六年でした。

そして、一七〇〇年前の弥生時代の住居を見ました。中にはいつて見ると、とつてもすずしかったので、冬はどうして過ごしたのかなあと思いました。

四〇〇年前の縄文時代の住居もすずしく、えんとつみたいなものや、だんろみみたいなものが石でまるくつくってありました。

私はこれを見て、むかしの人はよくかんがえてつくっているなあと思いました。

## 社会科見学旅行を終えて

四年 吉田智子

りました。

四年 本田恭子

わたしたち四年生は、九月三十日に長崎見学に行きました。はじめて小学校で遠くに行ったので、前の日は早く明日になってほしかったです。バスで歌を聞いたりしていると、ねむくなりまして、でも、目をパツチリあけて歌ったりしました。

わたしが一番行ききたかった所は、三回目にバスからおりた平和公園でした。ハトの形のふんすいがきれいかったです。帰った時はつかれていただけ、たいへんべんきょうになりました。

私は、国さい文化会館の見学で、あらためて原子ばくだんのおそろしさを知りました。そして、今までは原子ばくだんという言葉しか知らなかったんじゃないかと思いました。そして、私たちがおとなになった時に、せつたい戦争をおこしてはいけないということがとてもよく分かりました。そして、今からしっかり勉強して、りっぱなおとなになって、平和な世の中にしたいです。



平和の尊さを学習しました

# 三小 ねの町・JSE

## 「我ら仲間」

新山一丁目

六角屋 徹 洋

現在の子供達は、塾通い等で忙しく、日常生活において、お互いに遊んだりすることが少なくなつたように思えるが、新山一丁目子供会の子供達は、先輩・後輩の縦のつながりが強く、仲良く遊んでいる。このように、子供達に仲間意識（協力・思いやり）を抱かせることは、とてもすばらしいことだと思ふ。

このすばらしさの基礎になつているのは、スポーツであ



二中体育館横でのラジオ体操

る。ソフトボール、フットベール、スボールの監督、コーチの方の指導のお陰だと感謝している。

私は、自分の子が家庭学習時には見られない目の輝きで、仲間達と楽しそうに遊んでいる姿を見て嬉しく思う。

子供達の仲の良さ、これが新山一丁目子供会の自慢である。監督さん、コーチさん、ありがとうございます。

## 「山の手の

## 高級住宅街?!」

新山二丁目

中 菌 陽 子

「こちら辺ナ、よーと山やつたつて、いつとき来んぎらよーとミヤコになつてしてもて...」とは知り合ひの電気屋さんの言葉。

確かに、二十年前中学生の頃には、道の両側はうっそうとした山で、二中の校舎がポツンとあつたばかりでした。ところが今では、山の手の高級(?)住宅街です。

二中から、今村刑場、若草保育園までの一帯が私達の新山二丁目です。

新山東から一丁目・二丁目



「美しい汗」新山二丁目の廃品回収

会、健全育成部、育友会と三位一体となり、育成活動を活発に行つてゐる町内です。

町内会長さん初め、育成部長、幹事の方々の協力も素晴らしく、育友会の方でも大変活動しやすいい環境にあります。

例えば、町内会との合同で、四月にはおじいちゃん、おばあちゃんとの「ふれあい野山歩き」も、上木場の中継所まで行つてきました。八月には、町内育成部との協力で、子供相撲大会も賑やかに開催し、子供と大人の皆さんとのふれあいを主にして活動してありますので、今、問題のいじめ・非行など全然話を聞く事があります。

## 「三位一体」の協力で

坂上町

山下博文

私達の町内、坂上町は町内

ただ悩みの種は、年々子供の数が減つていく事。小学生の子供をおもちの方、新山二丁目に引越して来て下さい。「お願いしまーす」。

育友会の方でも、各分野に長年の経験をもつ指導者の方が出て下さいますので、代議



恒例坂上町子供すもう大会(勤労会館広場)

## 生活標語

おはようの あさのひとこえ  
げんきななるし  
白土桃山 一年 田中ゆうや  
早起きで も一度点検  
わすれもの

ルールを守つて 楽しい生活  
白土桃山 三年 田浦恵三  
元氣よく「はい」といえる  
すなおな子

坂上 四年 原賀哲郎  
あぶないぞ そのかけただしが  
じこのもと

坂上 五年 森野保史  
いじめなくそう!みんな仲良  
く 明るい笑顔  
栄町 六年 田中貴浩  
ゴミみたら きちんと拾つ  
てくずかごへ

浦田上 六年 安永佳代

今回は休みます。

## 編集後記

